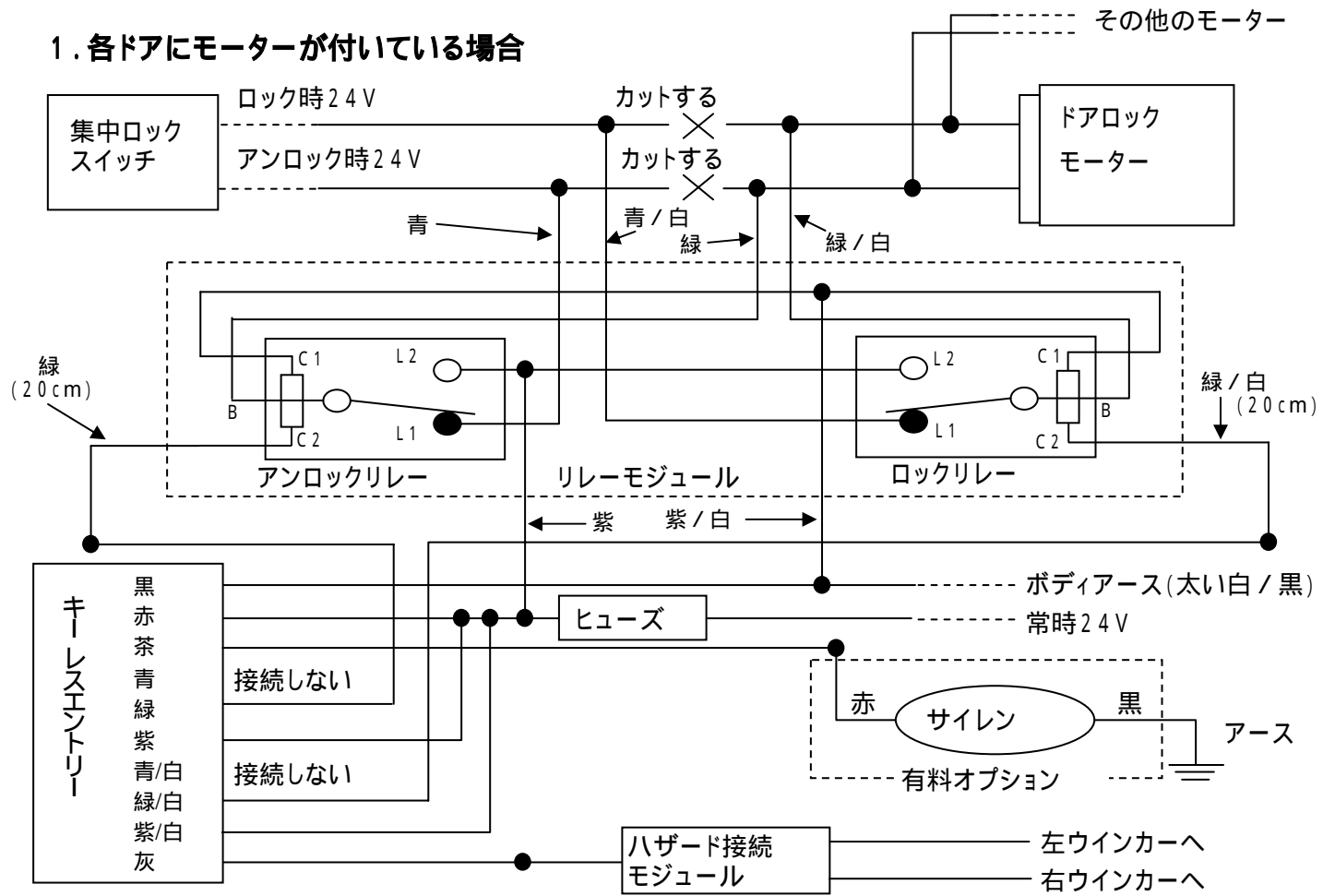


日本製リレー付き24Vキーレス基本結線図 100630

ロックピンの動作が淡い車両については、グリスアップ等を行い、負荷を軽減して下さい。そのまま取付した場合、リレーが溶着してしまうおそれがあります。この場合、保証対象外になります。

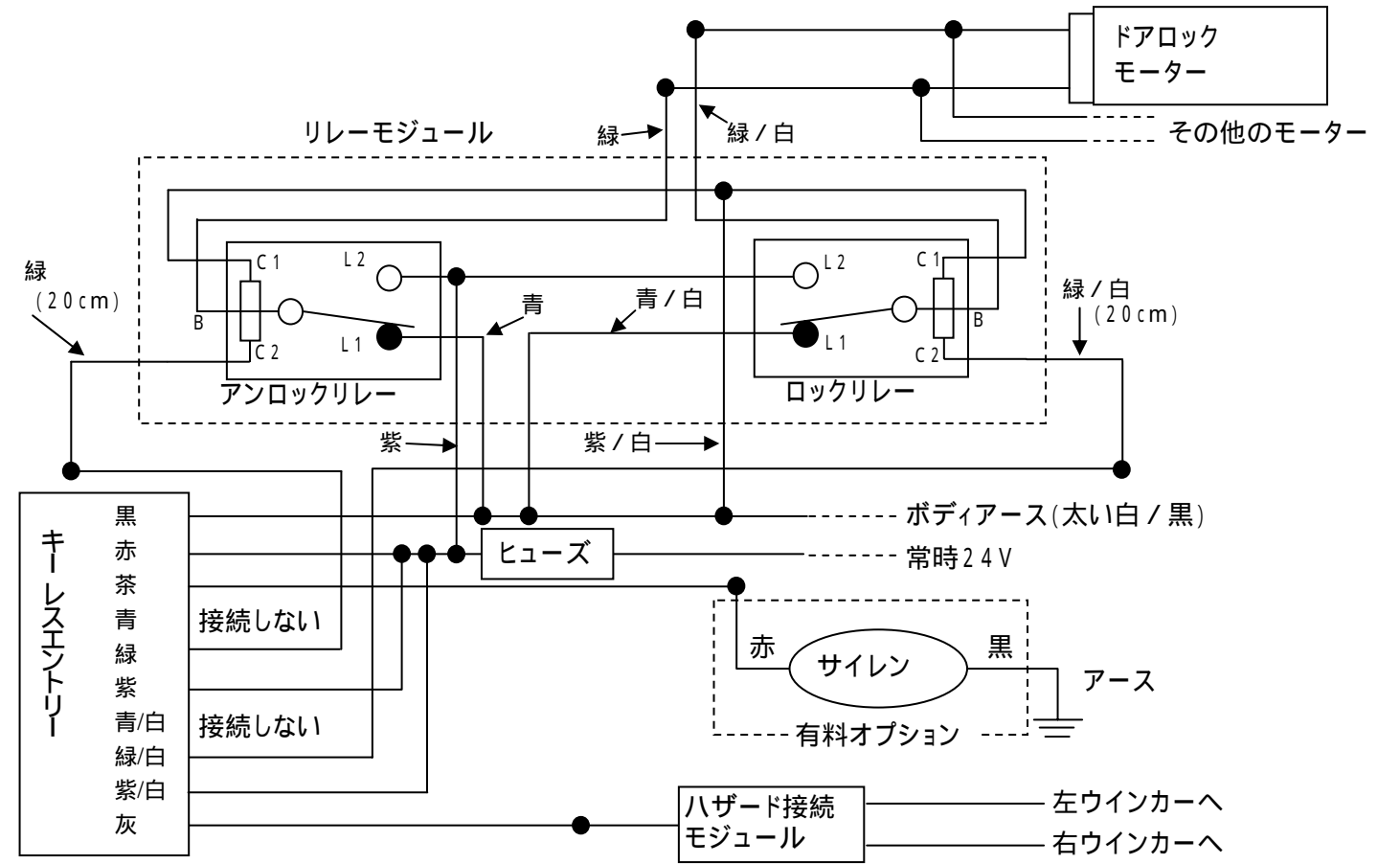
1. 各ドアにモーターが付いている場合



キーレスエントリーの配線

1. 車両の集中ロックスイッチのロック線をカットし、モーター側を外付けリレーの長い緑/白(B)に、集中ロックスイッチ側を外付けリレーの青/白(L1)に接続する。
2. 車両の集中ロックスイッチのアンロック線をカットし、モーター側を外付けリレーの長い緑(B)に、集中ロックスイッチ側を外付けリレーの青(L1)に接続する。
3. 外付けリレーの紫(L2)をキーレスの赤(24V)に接続する。
4. 外付けリレーの紫/白(C1)をキーレスの黒(アース)に接続する。
5. 外付けリレーの短い緑(C2)をキーレスの緑に外付けリレーの短い緑/白(C2)をキーレスの緑/白に接続する。

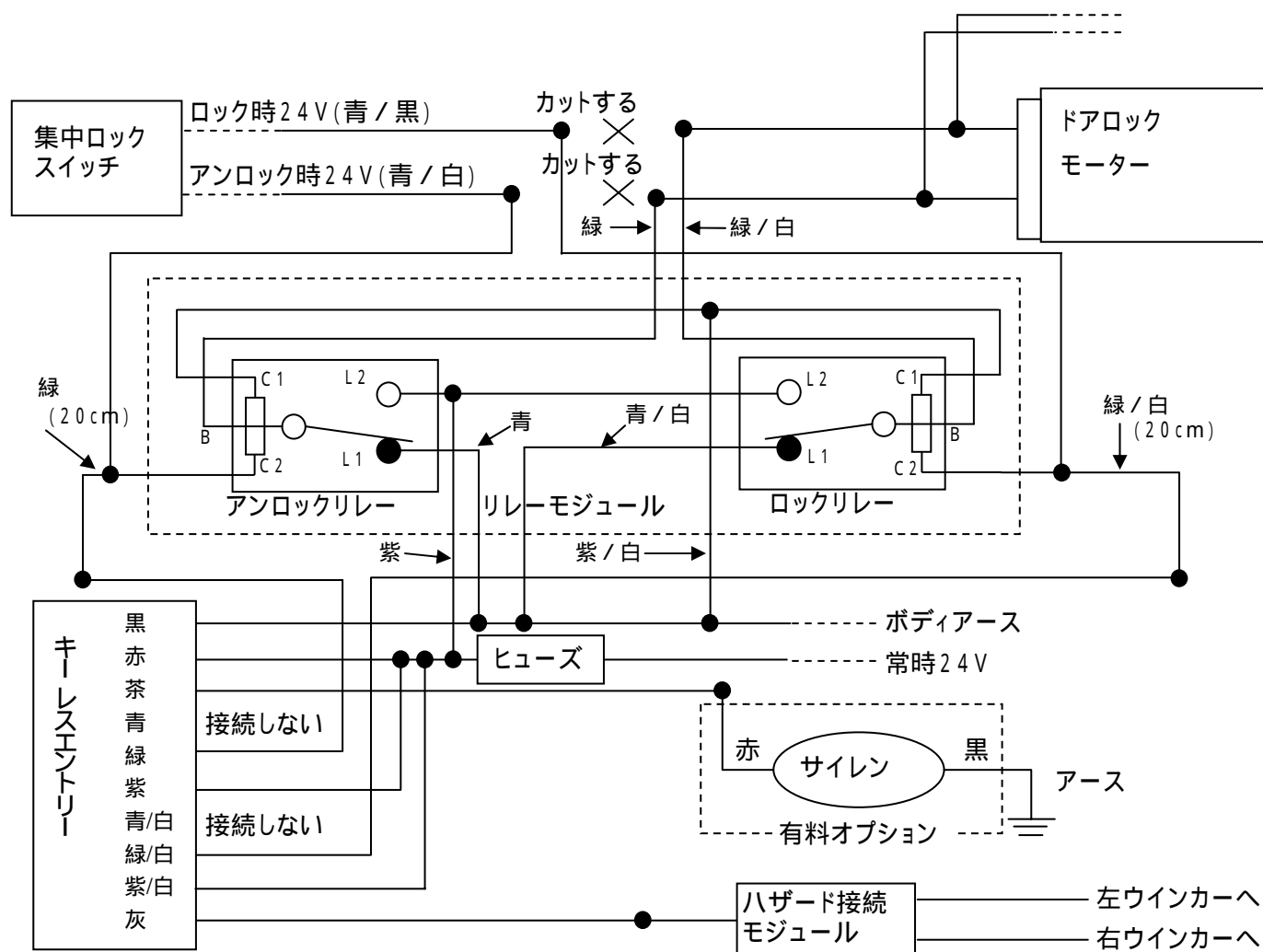
2. 運転席ドアやその他のドアにモーターが付いていない(モーターを後付けする)場合



キーレスエントリーの配線

1. モーターのロック線側を外付けリレーの長い緑/白(B)に、モーターのアンロック線側を外付けリレーの青/白(L1)に接続する。
2. 外付けリレーの青(L1)と青/白(L1)をキーレスの黒(アース)に接続する。
3. 外付けリレーの紫(L2)をキーレスの赤(24V)に接続する。
4. 外付けリレーの紫/白(C1)をキーレスの黒(アース)に接続する。
5. 外付けリレーの短い緑(C2)をキーレスの緑に外付けリレーの短い緑/白(C2)をキーレスの緑/白に接続する。

3. ランクル BJ70・70V・71V・73V・74V, LJ71G に配線する場合



キーレスエントリーの配線

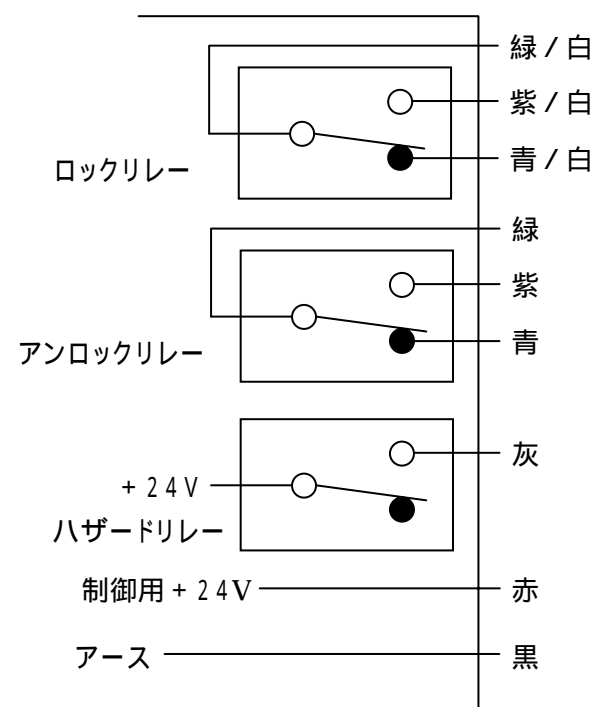
1. 車両の集中ロックスイッチのロック線(青/黒)をカットし、モーター側を外付けリレーの長い緑/白(B)に、集中ロックスイッチ側を外付けリレーの短い緑/白(C2)に接続する。
2. 車両の集中ロックスイッチのアンロック線(青/白)をカットし、モーター側を外付けリレーの長い緑(B)に、集中ロックスイッチ側を外付けリレーの短い緑(C2)に接続する。
3. 外付けリレーの紫(L2)をキーレスの赤(24V)に接続する。
4. 外付けリレーの紫/白(C1)と青(L1)と青/白(L1)をキーレスの黒(アース)に接続する。
5. 外付けリレーの短い緑(C2)をキーレスの緑に、外付けリレーの短い緑/白(C2)をキーレスの緑/白に接続する。

リモコンボタン

ボタンの種類	機能	ハザード	音	備考
ロックボタン	ロックします。	1回	2回	
アンロックボタン	アンロックします。	3回	3回	
サーチボタン	カーサーチ機能 (ロケーター機能ともいいます。ハザードが30秒間点滅します。)	点滅	-	途中、いずれかのボタンを押しても止まります。
パニックボタン	パニック機能 (3秒以上長押しすると30秒間ハザードが高速点滅し、サイレンが鳴ります。)	高速点滅	連続	途中、いずれかのボタンを押しても止まります。

オプションのサイレンを付けた場合に有効です。

キーレスエントリーの出力線



【ハザード接続モジュール】

灰色の線で、1本から2本の二股になっているものが、ハザード接続モジュールです。1本側をキーレスの灰色と接続し、2本側を左右のウインカー線に接続します。左右どちらに接続してもかまいません。

【受信機の設置場所】

受信機は、両面テープなどで固定してください。ダッシュボードの下など、見えないところでもかまいません。(アンテナは感度に応じて伸ばしてください。)

受信機はドアの中には設置しないようにしてください。水濡れや振動で故障の原因になります。

【サイレンについて】

ベーシックタイプキーレスの場合、受信機にサイレンだけ接続しても鳴りません。受信機にサイレンを鳴らす機能を追加する必要があります。

【サイレントモードについて】

サーチボタンを押して、ハザードが点滅中にロックボタンまたはアンロックボタンを押すとサイレンは鳴りません。

【感度について】

受信機から出ている黒い線がアンテナです。この線をまっすぐに垂直または水平に伸ばしてください。車種によって垂直がいい場合と水平がいい場合があります。また、受信機も水平または垂直に設置するなど工夫してください。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源に接続しないようにしてください。また、出荷時の電池はあくまでモニター電池ですので、本来の寿命より短い場合があります。感度が徐々に落ちてきた場合は、新しい電池に交換してください。もし、現行の感度でご満足いただけない場合は、感度調整方法を資料閲覧ページに記載しておりますのでお試しください。

【電源がしっかりととれているのに受信機が反応しない場合】

資料閲覧ページ記載の「リモコンのセットアップ」を試してみてください。

配線完了後、リモコン受信機を接続する前に次の手順で配線を確認してください。**必ずすべての手順を確認して下さい。**

Dタイプ 配線検査手順

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑/白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑/白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑/白と紫/白の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	紫/白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	受信機またはリモコンの初期不良

上記以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。

連続でロック・アンロックを繰り返さないで下さい。

検査ピン

